

第74期生の卒業を祝し、未来の健闘を祈る！



☆ 本日13日(土)、卒業証書授与式が挙行政され、第74期卒業生として、20名が学び舎を巣立ちました。午後2時から始まった卒業式には、来賓として佐々木村長様、富田村議会議長様、鈴木PTA会長様に出席していただきました。3年生1番の大井さんが卒業生番号5847号なので、以下19名の名をつらね、5866号に達します。義務教育9年間を終えて、真の個性発現のための旅立ち、誠におめでとうございます。

校長式辞

春の息吹が感じられる今日、東成瀬村村長佐々木様をはじめ、富田村議会議長様、鈴木PTA会長様、そして保護者の皆様方のご臨席を賜り、令和2年度卒業式を挙行政できますことに心より深く感謝申し上げます。

20名の卒業生の皆さん、本日の卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。世界的に流行している、新型コロナウイルスの感染対策ということで、新しい生活様式を踏まえた学校教育活動の中、今このように沢山の方々に見守られ、祝福されることは、皆さんにとって大きな喜びであり、生涯忘れることのできない貴重な体験であると思います。改めて感謝の気持ちをもつと共に、自分に寄せられている大きな励ましや期待に応えていこうとする決意を新たにしたいと思ひます。

さて、卒業生の皆さんと私は、この東成瀬中学校に同じく入学し、3年が経ちました。出会って、あつという間の3年ではありますが、私の話に時には笑い、時には真剣につきあってくれました。今日が最後となります。皆さんの新しい門出に当たり、卒業生へのエールということで、ひとつだけお話をします。それは、私がよく話をしてい、充実した学校生活のために意識したいキーワードについてです。1年生の時は「3C」、2年生の時は「3C 100 POWER」、そして、最上級学年の今年度は「3C FULL POWER」です。この3つの「C」とは、Cから始まるチャレンジ、コンティニュー、チェンジのことで、学校生活のあらゆる機会を捉えて、いろいろなことに挑戦し、学んだことを踏襲し深化させて、よりよい自分に変えていくことを意味しています。特にチャレンジ「挑戦」について忘れないでください。

「挑戦」とは、手強い相手や困難な物事に勇気を持って立ち向かうことです。先日の受験は、皆さんにとってまさに「挑戦」だったと思ひます。挑戦することによって、よりよく変わることができるのです。失敗を恐れず、何事にも挑戦してくれることを期待しています。もちろん、「挑戦」には挫折も伴います。しかし、悩んでこそ、人を思いやる心や人の温かみ分かり、人の心の痛みも理解できるようになります。皆さんは、両親をはじめ、親戚や友人、知人、先生方の、目に見えない助けにも支えられてきました。そして、自分でも気付かぬうちに、確かに誰かを支えてきました。人を生かし、人に生かされていることも忘れず、大人への階段を上がってほしいと思ひます。さらに付け加えるならば、「挑戦の終わりは、新たな挑戦の始まりである。」ということです。今日の卒業は、中学校での挑戦の終わりですが、4月からは高校での新たな挑戦が始まります。春休みは一度リセットして、いろいろな力を蓄えて、高校生活に備えてほしいと思ひます。高校での生活に悩んだ時には、母校の東成瀬中学校の先生方と多くの後輩たちが待っています。遠慮なく、羽を休めに来て下さい。

保護者の皆様方にご挨拶申し上げます。本日は、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。厳しい社会の変化の流れにより、子どもを大きく育てることは並大抵のことではなかったことと思ひますが、心身ともに成長し、学舎を巣立ちゆくお子さんをご覧になり、感慨もひとしおのことと存じます。私も職員は、微力ではありましたが、常に子どもさんたちの健やかな成長を願って最善を尽くしてきたつもりであります。これまで、本校の教育のため、温かいご理解とご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。

結びとなりますが、卒業生の皆さんの今後のさらなる活躍と健康を祈り、これまで育ててきた20名の友情のともしびがいつまでもいつまでも燃え続けることを願って式辞といたします。

